

アプリ起動でポイント

イッカツが安価サービス

金融や住宅ローンの比較サービスを展開するイッカツ（東京・港、鈴木敬社長）はスマートフォン（スマホ）のアプリを起動するだけでポイントがたまるウェブサービスを始めた。低コストでアプリのダウンロード数の増加や利用率の向上につながる利点をアプリ会社に提案して普及を狙う。



サービス名は「Start」と、米アップルのOS「iOS」からアプリのアイコン（スタート）。米OSのスマホに対応するをクリックすると、利

グーグルの基本ソフト。会員登録した利用者。ユーザーが持つスマホやタブレット（OS）「アンドロイド」がStartのウェブペレット（多機能携帯端末）に入っているアプリが起動する。対象のアプリが利用者のスマホなど端末に入っていない場合はインストールを促すメッセージが出る。

1回の起動で1コインを付与。10コインを1円に換算する。iTunes（アイチューズ）やアマゾンジャパン（東京・目黒）の「amazon」のギフトコード、LINEのギフトコードなどに交換できる。

ウェブ上でアプリを広告する場合、インストール1回あたりの単価を支払うのが一般的だ。ダウンロードしても使わなくなる利用者は一定数いるため、想定するユーザー数を獲得するために広告費用をかけた続けなければならなかった。

Startの場合、利用できるメリットがあり、休眠状態の利用者を再び利用につなげる効果も期待できる。

既に今春からイッカツが掲載費用を負担する形でサービスを先行させている。現在、アンドロイドでは600、iOSで900のアプリが表示される。ユーザー数は約2万人。月間平均で起動数は16万回でアクティブラ率は45〜50%という。

11月からはページに載せるアプリの募集を始める。費用は最低で1起動につき3円、500のユーザーを対象に7日間掲載すると1万5000円（税別）。「低コストで始められるので、中小のアプリメーカーのメリットは大きい」（鈴木敬社長）と話す。

イッカツは住宅ローンカードを比較できるサイト事業を展開している。月間6千人の新規利用者を持つ。

Start事業は来春に20万ユーザーを目標にしている。早期に単月で2千万〜3千万円の売り上げを目指す。

（村野孝直）